

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営規程による理念を基本として、一人一人の入居者が長年住み慣れた地域から離れず、馴染みのある習慣、行事等日常生活の中で感じる事の出来るよう積極的な働きかけを提供し、又、家族も地域内におられ、繋がり維持に努めている。	○	平成18年度より介護予防対象者（要支援2）への対応も加わっており、施設入居者としては現在はおられないが、自立度の高い方へのサービスも円滑に提供でき介護度の高い入居者との共同生活が可能であるよう配慮する必要がある。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員研修の場で説明し理解を得ており、又、全職員が日常的に購読できるようスタッフルーム内に運営規程を設置及び、職員に対して意識の働きかけとして日々の申し送り、ケース会議等で理念の基本並びに全ての情報の共有化を図っている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	各フロアの掲示板に運営方針を掲示し、更に入居時に入居者と家族に説明しています。又、文章のみでは覚えづらい点も考え、「居心地の良い居場所」とキャッチフレーズ的な言葉も各フロアに掲示して、来訪者にも広く理解を求めている。	○	平成18年度より開始した運営推進協議会においても、第一回目の開催時に地域の代表者である民生委員の会長にも理解を得ている。又、地域の会議等に積極的に参加し、より多くの人々に理解を求めてゆきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の中でも、特に隣近所の方との繋がりには重点を置き、散歩の途中で立ち寄り、会話の時間を作ったり、施設への訪問もいつでも受け入れており日常的にも隣の小学生が1人で遊びに来たり、気軽に声を掛け合える状態である。又、時々野菜等の差し入れも有り。	○	隣の小学生には訪問時入居者も交え、清掃活動の手伝いも行ってもらっている。町内は異なるが、道を挟んでアパートが三棟あり外国籍の方々と子供が暮らしておられ、気軽に挨拶は交わすが、施設への訪問には至らず今後の目標としてゆきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、様々な地域活動にも積極的に参加させて頂いている。又、施設の実施する行事にも自治会長を通し、お知らせしている。並びに平成18年度よりの運営推進協議会に地区の民生委員会長にもメンバーとして参加して頂いている。		又、地域の小中学校との交流（行事参加等）地域の文化祭への作品の出展・同地区内の寺院の灌仏会への参加を含めて積極的に努めている。更に施設で実施する行事に地域の老人クラブ等の参加を求めてゆきたい。

岐阜県. グループホーム樫の実

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人の他の事業が受託し実施している。又、昨年度より地域包括支援センター2箇所も法人の事業として加わり多方面における取り組みがなされている。		在宅の認知症高齢者の介護者を対象とした相談案内をし、地域の認知症高齢者また、その家族の精神的負担の軽減を図った。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果及び指摘事項を会議等の場で報告し、指摘事項については速やかに改善を行う体制を整えている。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設サービスが閉鎖的とならない様サービスの内容や運営、時に実際にサークルに参加して頂き、参加者からの意見を参考に今後のサービス向上に努めている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人の他の事業が受託し実施している、又昨年度より当法人より地域包括支援センター2箇所が設置され、主催する会議に出席するなど市町村との情報の共有化及びサービスの質の向上は図れている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	積極的に研修の場への職員の参加及び、ケース会議での参加職員の報告並びに岐阜市人権啓発センターの職員による講習会も開催し職員に周知徹底を図っている。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員に周知徹底が図られている。		

岐阜県 グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時十分な説明を行い、疑問等について納得し入居に至っている。解約時についても同様である。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理制度を導入し、意見があれば対応している。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月出納を明記した預り金台帳を送付。又、健康状態については定期的、病状にあわせ随時報告を行っている。必要に応じて個人のケース記録等と共に報告・説明している。職員の異動についても連絡をし、適切な報告を行っている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理制度により実施している。又、細かな指摘については個別の申し送り、ケース記録に記し改善し、場合により会議で検討する体制を整えている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、月2回のケアスタッフ会議に機会を設け反映できる体制である。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常時日中3名以上の配置を行い、要望に対応出来るよう、又、必要時には職員の勤務変更等職員にも理解を得、体制を整えている。	

岐阜県. グループホームぐらの実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	極力異動を最小限にしている。又、異動してもスムーズに業務が出来る様、十分な情報の引継をし、利用者のマイナスとならない様な配慮を行っている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規職員研修の実施及び、管理者並びに事務局より事務長が各会議に参加、職員の心得、サービスの在り方等の説明を実施、更に施設内外研修への積極的な参加を促している。専門職より講師、講演行い職員のサービス、質の向上を図っている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	岐阜市東部及び北東部地域包括支援センターが開催するケア会議に参加して他のグループホーム職員やケアマネージャーとの積極的な意見交換等交流の機会を持っている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会による法人職員相互の集いや研修旅行、又、ゲーム大会・食事会・等実施している。会員制ホテル等随時職員・家族等で利用できる。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者・事務局により各会議及び通常の業務の中で助言・指導を実施。モチベーションを維持出来る環境作りに努め職員個々の状況を把握し、運営者へ報告している。		

岐阜県. グループホーム樫の実

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前面接時に本人および家族より生活歴・主訴を伺い、又、会話の中からも探り、ケアプランを設定している。本人の状況に合わせケアマネジャーと介護職員がアセスメントを実施している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談時、入居前面接時によく話を伺い、家族の希望、又利用者本人の問題点等を理解し、受け止めた上でケアプランの設定を行い、家族にも確認をしてもらっている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族・ケアマネジャー及びケアスタッフを交え、本人にとって何が必要なのか検討し、本人のニーズに合った他のサービスの紹介、また必要であれば入居の方向で話を進める様にしている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	現在全ての方が入居に納得されており特別な対応はとっていない。本人・家族の希望により外泊・外出は随時奨励している。入居されてからは、馴染みの関係になるよう努めている。	今後入居に不安を抱いている対象者がいれば本人・家族と話し合い、その方にとって適している利用の方法を実践していく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生の先輩として敬い、経験の中で尊重すべき点は見習い、互いに生活し楽しく支え合える関係を築いている。	

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の情報交換を密にとり、互いに違った立場からの本人支援が出来る様体作りをしている。又、毎月行事案内を送付して参加も奨励している。		家族と職員が一緒になって利用者の生活を支えていく協力体制を確立しつつある。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームに入居されたからといって、それまでの関係を断ち切るのではなく、常に家族との絆を持ち続けて頂く様、電話連絡等密にとり配慮している。	○	将来的に介護職員（リーダー）より年間3～4回の葉書による生活内容についての報告を考えている。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別に要望を聞き、知人、家族と連絡をとり可能であれば前所在地への訪問の支援、距離的及び特別な状況であれば家族に協力を依頼している。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	作業・行事・外出等相性を十分考慮し利用者同士良い関係を促している。又、表現の困難な方については職員が間に入り円滑にコミュニケーションが図れるよう援助している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入居時に家族に対して、特別養護老人ホームへの入所・病院・老人保健施設等の紹介等が可能な事を説明している。		

岐阜県 グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前面接・随時のアセスメントにより把握・実践に前向きに取り組んでいる。また、日常の会話からも探り、出来るだけ本人の希望が叶えられるよう配慮している。自己表現の困難な方についてもその方の立場に立ち、必要に応じて管理者・ケアマネ・ケアスタッフ・管理栄養士・ドクター等と話し合い最適と思われる対応を行っている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前面接により本人・家族より聞いている。又、入居後も会話の中から情報収集し職員間に周知を図りサービスの提供を行っている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の様子（心身共）を申し送り・ケース記録・バイタルチェック表にて把握している。小さな気付きについても記録し、情報の共有を図っている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	施設職員だけで介護計画を作成するのではなく、本人・家族の意向を十分に聞き、取り入れている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居後1年間は3ヶ月毎の見直し、1年経過後は6ヶ月に1回の見直しを行っている。随時ニーズに合った見直しを行っている。	

岐阜県. グループホーム檜の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	個々のニーズには、柔軟に対応している。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	開設以来の該当者はありませんが、必要とされた場合は対応できる体制である。	
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	入居者が外泊時にデイサービスの利用等への協力は実績があり、今後も必要性に応じて柔軟に対応する。	
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	現状での入居者の意向や必要性は該当者が無いが、地域包括支援センターとの協働については地域ケア会議への参加及び当施設の運営推進協議会への参加の協力を得ている。	

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> <p>総合病院・整形外科・歯科・内科等協力病院（医院）契約がしてある。及び家族が希望される医療機関での受診を支援している。</p>	○	眼科・耳鼻科等近くには総合病院があるが、通院時間が長くなる事が多く、出来れば個人の医院を探して通院の機会に対応したい。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> <p>契約した協力医療機関による。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> <p>契約した協力医療機関及び同法人の特養老人ホームの看護師にも協力を得ている。18年度は看護師を配置していた。</p>	○	今後看護師を配置して行きたい。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>契約した協力医療機関と情報交換や相談に努めている。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>主治医・家族・施設の3者により十分な話し合いの場を持ち方針を決定。全職員に周知徹底を図り対応する。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>同 上</p>		

岐阜県 グループホームぐらの実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居に対しては家族・ケアマネージャー・医療機関との情報交換により対応、退居については退居者に関する情報・資料を様式を作り準備する。		「状況報告書」の書式により情報提供を行っている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の管理、プライバシーの保全には常に留意し、職員にもその重要性の認識を図っている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定の尊重を基本に利用者が施設で生活をする上で納得し安心した生活が出来るよう心掛けて行く。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の生活リズム等を尊重し、強要することなく何事においても入居者ペースで行われるよう援助を行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみ・おしゃれについては自己決定をされる方が殆どであるが、自己決定が困難な方には職員が相談に応じながら対応している。理美容については希望時に出張理美容院を施設にて手配し利用されている。	○	いままで利用者より理美容店の希望は無いが、今後希望される場合は施設で出来るものは対応して行きたい。

岐阜県. グループホーム樫の実

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な方には調理時より参加頂き、作る楽しさと喜びを味わって頂く。端切れを利用したランチョンマットを入居者と作成し使用している。嗜好アンケート調査をして、その結果を検証し献立等に反映させている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物時（本人又は職員代行）希望物品（嗜好品等）を購入している。（喫煙者については現在該当無し）酒類・火気等については職員お預かりし、希望時にお渡ししている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	やむなく紙オムツ（パンツ）や尿取りパッド使用者については排泄パターンの把握をし、トイレへの声掛けや誘導を定期的に行い、トイレで排泄して頂く事を基本として促し、オムツ・パッドの交換を最小限に減らしている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴を原則としているが、現在1日3人程度入浴して頂いている。入浴時は入居者のペースに合わせて拒否される場合は特に無理強いせず、気分が良い日に入っている。同性介助を望まれる方については必要に応じ対応している。（入浴拒否者には全身清拭を提供している）		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中のレク活動・家事活動を促し安定した生活が送れる様に生活のリズム作りを行っている。夜間不眠傾向の入居者に対しては個別対応（ドクター指示含む）を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸・手芸・カラオケ・掃除・洗濯畳み・調理等個々の入居者が出番を見出せる場面を作っている。又、週刊誌・新聞等はいつでもリビングにて閲覧出来る状態となっている。		

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方には、手元に渡し、又、困難な方に対しては、本人・家族の納得の上、職員にて預かり必要時にお渡しして、入居者本人による金銭の受け渡しを行っている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出機会を出来るだけ設けている。毎日散歩、菜園作り、定期的な買い物、地域行事への参加などを促し、楽しい雰囲気作りに努めている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に外出先の要望を聞き、可能な所であれば随時出掛けている。又、家族にも依頼している。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、随時電話利用が出来る、手紙についても本人の希望があれば、支援を行う。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族と過ごせるスペースを確保している。(リビング・居室・談話コーナー) 湯茶の接待など訪問しやすい雰囲気を作っている。又、入居者の近況(状況)も報告している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員に周知徹底が図られており、又、対象となる入居者はいない。		

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県. グループホーム樫の実


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは、毎年家族・本人の確認を得て予防接種をしている。全室個室の為個別対応が可能である。又、感染症マニュアルが設置してありケース会議にて勉強会を行っている。（当法人経営の特養よりの看護師の応援要請が出来る体制である）		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は2日に1回新鮮な食材が入荷する。又、速やかに冷蔵庫保管するよう徹底している。調理器具及び食器の衛生管理については漂白剤に浸し管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関、周囲のフェンスにはプランターを設置し、入居者及びご家族、地域の方など入りやすい玄関周りとなっている。駐車場の奥には花壇があり、家庭的な空間作りを行っている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間作りについて季節の花をテーブルに飾ったり、時節に応じて飾り付けをしている。光の調節にはレース及びカーテンにより調節して利用者がゆっくりとくつろげるよう配慮している。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにおいては畳コーナー・ソファを設置し、リビングとは別に談話コーナーが別の場所に設けて活用して頂いている。		

岐阜県. グループホーム樫の実

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人・家族と相談の上、在宅で愛用されていた家具や好みの物を持ち込んで頂き、過ごしやすい部屋作りを考えている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>窓の開閉、熱交換型換気扇の使用により換気を行っている。又温度計の確認により空調の温度設定を実施している。廊下等共用部に空気清浄機を設置して対応している。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを廊下・トイレ・浴室に設置。浴槽内にゴム滑り止めマット使用。物干し場等、楽に手が届く高さにしてある。又、車椅子、歩行器を使用し自立出来る設備整備もしてある。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>全居室前には表札を掲げ、全てのトイレに表示を設置している。又、理解困難者の為に貼り紙にて表記したり、居室前に目印となる物（本人馴染みのぬいぐるみ等）を付けて対処している。更に朝（10：30～）昼（13：30～）の体操による身体機能面の自立も図っている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>生活歴や趣味を活かせるよう園芸活動には外回り、屋上、ベランダ、西側駐車場花壇、北側駐車場スペースを利用している。物干し場は1階テラス・屋上に設置している。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム檜の実

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症高齢者の状況は日々変化し、又機能的な低下は避けられないのが事実である。我々が提供する現状のサービスが最良ではなく、客観的な判断による介護サービスを利用者のペースに合わせて提供される事が大切であり、その根底には尊厳と愛情を持って携わるを原則とする。